

留 学 報 告 書

記入日:2019年09月12日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: 英語
留学期間	2019年5月～2019年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年08月19日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬-12月中旬 2学期:1月上旬-3月初旬 3学期:なし (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	41,910
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (107円)	円	備考
授業料	\$6000	642,000円	
宿舍費	\$4648	497,336円	
食費	\$500	53,500円	
図書費	\$140	14,980円	
学用品費	\$50	5,350円	単語帳など
教養娯楽費	\$0	0円	
被服費	\$400	42,800円	
医療費	\$0	0円	
保険費	\$251	26,870円	形態:MO3
渡航旅費	\$969	103,700円	
雑費	\$300	32,100円	交通費
その他	\$1500	160,500円	娯楽費
その他	\$0	0円	
その他	\$0	0円	
合計	\$14,758	1,579,136円	

渡航関連

渡航経路: 日本>韓国>サンフランシスコ

渡航費用

チケットの種類 アシアナ航空

往路 成田空港>仁川空港>サンフランシスコ国際空港

復路 サンフランシスコ国際空港>仁川空港>金浦空港>羽田空港

合計 103,700 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

expedia のウェブサイトを利用して渡航チケットを購入しました。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 1)

3)住居を探した方法:

大学の寮に関するウェブサイト

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

インターナショナルハウスという寮に滞在したのですが、留学生がほとんどの寮なので、異文化交流が盛んで、寮内で様々なイベントもあったので、とても楽しかったです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

寮の事務の人に相談しました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

一度お財布を無くしてしまった際に UCPD に無くした旨を伝え、落とし物センターにお財布が届き次第連絡していただくようにして頂いた。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のWi-Fiは基本通じるが、たまに接続が悪いことがあった。一方、学校内のWi-Fiは接続がよかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で資金調達をしなくてよいように日本から事前に両替したお金を多めに持って行った。またクレジットカードも一緒に使った。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日焼け止め

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

クレジットカードで支払った。渡航前に留学先大学から指示があった。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
メーカー業界に就職できたらと考えています。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学先でビジネスの授業を履修し、そのなかに社会にでたときの疑似体験をさせてくれるような授業がありました。そこでの経験を就活する際に面接などで話せると思うのでそれらのビジネスの授業に積極的に参加してみるのもいいと思いました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas School of Buisness
履修期間	7 週間
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brady
授業内容	グループに分かれ、企業のケーススタディをしたり、ある企業のマーケティングに仕方についてディスカッションなどをしました。
試験・課題など	試験 1 つ、レポート 3 つ、グループプレゼンテーション 1 つ
感想を自由記入	教授がとても生徒思いで留学生にとってとても過ごしやすい環境でした。授業の内容もとても面白く、大変多くのことを楽しみながら学ぶことができました。とても人気のクラスだったので、早めに履修登録することがおすすめです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advertising	広告
科目設置学部・研究科	Haas School of Buisness
履修期間	7 週間
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Bill Fanning
授業内容	事前に教授に出された様々な企業のアドバイジングに関連する記事を読み、それについて教授が授業中に深くアドバイジングの基礎教養なども含めて説明してくれるような授業でした。その他にも授業で習ったことを定着させるために、グループで授業で習ったことを活用して発表することも二度くらいありました。
試験・課題など	レポートが一つ、テストが中間と期末の二つ、グループプレゼンテーションが 2 つ
感想を自由記入	ゲストスピーカーが来てくださったりと企業さんと直接一緒に広告の宣伝を考えるなど授業内だけでなく、外の社会と関わる機会を下さる教授でした。授業中はほとんど板書をしないので、リスニング力が鍛えられます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
General Psychology	一般心理学
科目設置学部・研究科	心理学部
履修期間	7 週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Davina Chan
授業内容	心理学のベースとなるものを一通り学びました。心理学といってもジャンルは広いと思いますが、一つ一つのジャンルをかじるような感じで授業が進みました。授業中に簡単な実験なども何回かしてとても楽しかったです。
試験・課題など	試験 2 つ
感想を自由記入	教授自身心理学がとても好きだったので、授業を受けていてもその熱意が伝わり、とても楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Social Psychology	社会心理学
科目設置学部・研究科	心理学部
履修期間	7 週間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 240 分が 2 回
担当教授	Christopher Gade
授業内容	社会のなかで、人間はどのように判断や行動するのかを学ぶ授業でした。ペアになって簡単な実験を行ったりして、とても楽しかったです。先生が基本ずっと喋っているのとスライドには書いていないが、先生が授業中に言ったことがテストにも多く出るような授業だったので集中力とリスニング力がとても必要だったと思います。
試験・課題など	試験が三つ、レポートが一つありました。試験は三つのうち、成績が一番良い 2 つのテストが成績に反映されました。その他、課外活動(RPP を 3 時間やるとエキストラポイントがもらえるようなシステムでした。)
感想を自由記入	授業の内容自体が私たちが普段過ごしている環境が舞台となっていたので関連付けがしやすくとても理解しやすかったです。また、授業の内容もビジネスでも使えるような心理学の内容も入っていたので就職活動が心配の方などにもおすすめしたい授業でした。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2019年 1月～3月	二次募集でパークレー校に応募した。
4月～7月	説明会に出席。授業登録、寮の手続き、所属事務室に留学届などをだした。その他にもサマーセッションズが出している留学先で役に立つ講座などに参加。5月の末から留学開始。
8月～9月	セッション A とセッション D から 4 つの授業を履修した。中間や期末、予習復習に追われる毎日。八月の末に帰国。
10月～12月	



留学体験記

留学しようと決めた理由	大学に入学する前から米国で英語に存分に触れながら勉強して生活したいという思いがありました。しかし、何もせずに三年生を迎えようとしていたときにたまたまこのサマーセッションという留学プログラムを oh meiji でみたのがきっかけで改めて留学しようと思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力をあげることが大事だということを改めて感じました。現地の授業ではグループで何かをするであったり、コールドコールと言って、先生がランダムに生徒に授業中あてるといったことがあるので、そのような状態でもすぐに自分の意見を固めて発信できるようなスキルを事前に準備すればよかったなと思いました。
この留学先を選んだ理由	多様性溢れていて、多くのノーベル学者を出しているのと、就活もあるので、短期ということに魅力を感じカリフォルニア大学バークレー校に留学しようと思いました。
大学・学生の雰囲気	サマーセッションということもあり、授業を受けに来る人は留学生が主に多かったので、多様性にとても特化していました。また留学生が多いので、授業内の雰囲気もとても和やかでみんながみんなと友達になりたいような環境だったので、とても居心地がよかったです。
寮の雰囲気	寮もインターナショナルハウスと言って、留学生を主に受け入れる寮に泊まっていたため、友達を作りやすい環境でもありました。毎週水曜日にはコーヒアワーと言って、大ホールでお菓子パーティーなどが開催されたり、こまめに寮の中で行きたい人達で遠足するプログラムなどもあり、とても楽しかったです。
交友関係	留学生が全般的に多いこともあり、同じ授業を履修している生徒に積極的に話しかけたり、ジムで一緒にダンスクラスを取っている生徒とかと仲良くしていました。その中で主にルームメイトの人と一緒にいることが多かったと思います。一緒に生活していると生活のリズムも似てくるので、一緒に食堂に行ったり、ハイキングなどをしました。
困ったこと、大変だったこと	予習しなければならない量が大変多かったのですが、それを毎晩こなすことが大変でした。普段一学期間かけて行う授業を 6 週間と短縮しているので、その期間内で中間、期末、レポート、課外活動(RPP)を全てに気を配って何一つ漏らさずにやらなきゃいけないことが大変でした。
学習内容・勉強について	セッション A ではビジネスの授業を履修していたのですが、主にグループワークがとても多かったです。何かについて調べて研究というよりもグループ内でアイデアを出して自分たちなりのプレゼンテーションを作るのがメインでした。一方、セッション D ではバークレー全体の生徒数がセッション A と比べ増えたこともあり、教授主体の授業が多く感じました。
課題・試験について	課題の量はどの授業も多いように感じました。事前に読まなければいけないものが多く、リーディング力を鍛えることの重大性を改めて感じました。試験はコンスタントにありましたが、基本授業のなかで先生が言っていたものがほとんどテストに出題していたので、授業を集中して聞くことで、試験勉強も少し楽になりました。
大学外の活動について	学校に大きなジムがあり、そこで様々なクラス(ズンバ、カーディオダンス、筋トレ、ヨガなど)があったのでそこによく通っていました。
留学を志す人へ	ここで培ったものは一生残るんだなと留学をしているときから感じるくらい、視野も価値観も広がりました。また、自分のことを見つめ直すいい機会ともなりました。自分を変えたいもしくは、自分とはどういう人なのか知りたい方はぜひ行ってみてください！

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業(セッション D)	授業(セッション D)	授業(セッション D)	授業(セッション D)	授業(セッション D)	娯楽	娯楽
	自習	授業(セッション A)	授業(セッション A)	授業(セッション A)	自習	娯楽	娯楽
午後	授業(セッション A)	授業(セッション A)	授業(セッション A)	自習	自習	娯楽	勉強
	自習	自習	自習	自習	自習	娯楽	勉強
夕刻	ジム	勉強	ジム	勉強	勉強/交流	娯楽	勉強
夜	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	娯楽	勉強

